

HP デザインジェット 1000 シリーズ 巻き取りリール



ユーザーズ ガイド

All rights are reserved. Hewlett-Packard 社の文書による許可なしに、本書の内容の一部または全部を、無断でコピーまたは複製し、ほかの言語に翻訳することは法律で禁止されています。

PostScript[®] は、Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

注意

本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。Hewlett-Packard 社の許可なしに本書を転用することを禁じます。

弊社は、本書中のいかなる間違いに対しても責任を負いかねます。また、本書に関しては、特定の目的に対する適合性、市場性などについての一切の保証をいたしかねます。

Hewlett-Packard 社は、本文書およびこれに扱われている内容の保管、実施、使用に伴う、またこれから生じる偶然的、結果的損失に責任を負うものではありません。

目次

プリンタのアップグレード	4
ファームウェア バージョン番号のチェック	4
新しいファームウェア モジュールの取り付け	5
巻き取りリールの部品	11
巻き取りリールの取り付け	13
巻き取りリールへの用紙の取り付け	21
巻き取りリールからの用紙の取り出し	29
巻き取りリールの芯の交換	32
巻き取りリールでの乾燥時間	36
トラブルの解決	38
巻き取りリールが機能しない	38
巻き取りリールでの用紙のゆがみ	38
巻き取りリールの仕様	39
法定規格通知	41
Declaration of Conformity	43

プリンタのアップグレード

巻き取りリールを取り付ける前に、プリンタに取り付けられているファームウェア モジュールが巻き取りリールに対応していることを確認してください。

ファームウェア バージョン番号のチェック



プリンタ メニューから「ユーティリティ」 - 「ジョウホウ」 - 「ROM バージョン」を選択すると、プリンタのフロントパネルにファームウェアのバージョン番号が表示されます。

- ファームウェアのバージョン番号が A. 01. 05 以降の場合は、巻き取りリールに対応しているので、取り付けに進むことができます。
- ファームウェアのバージョン番号が A. 01. 04か A. 01. 04Aの場合は、HP カスタマ サポート センタまでお問い合わせください。ファームウェアアップグレード キットを**無償**でお送りします。日本 HP カスタマ サポート センタの電話番号は、巻き取りリールに付属のカスタマ サポート センタのパンフレットの一覧に掲載されています。

新しいファームウェア モジュールの取り付け

このセクションでは、新しいファームウェア モジュールの取り付け方法について説明します。新しいファームウェア モジュールを取り付ける必要がなければ（前のページを参照）、11 ページの「巻き取りリールの部品」にお進みください。

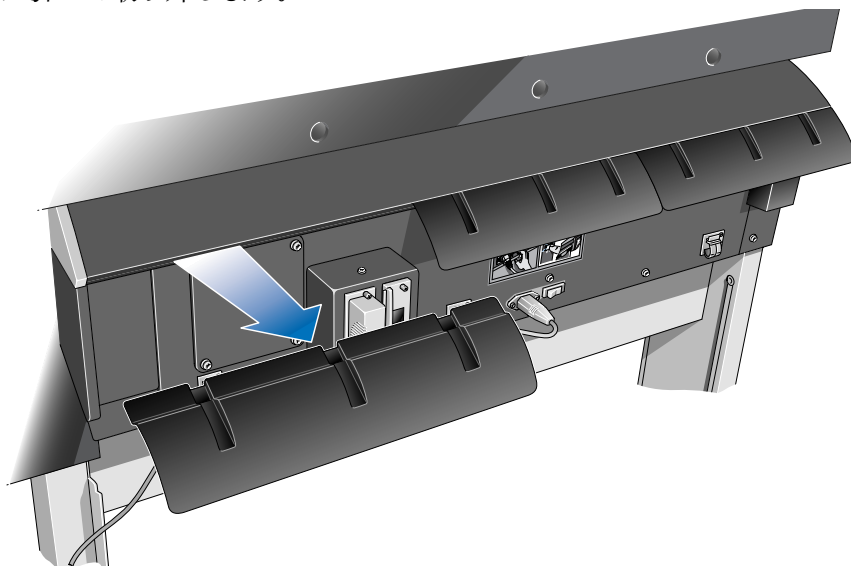
注意

ファームウェア モジュールには、静電気ダメージを受けやすい電気部品が含まれています。ファームウェア モジュールを扱う前に、次の注意事項を必ずお読みください。

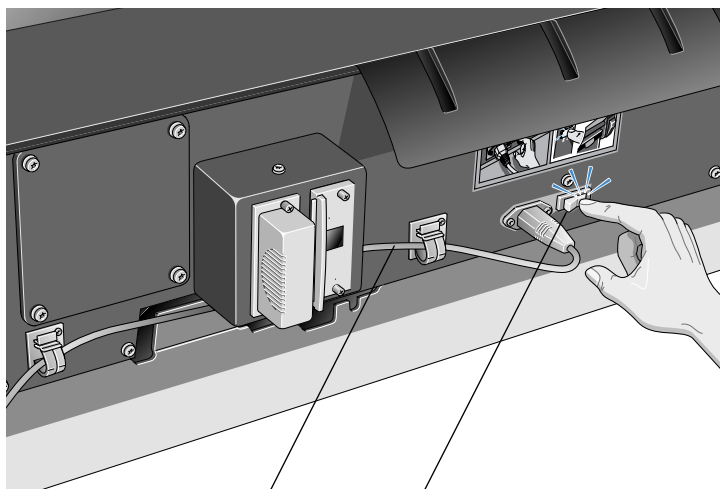
- 取り付けの準備が完了するまで、ファームウェア モジュールを帯電防止袋に入れておいてください。
- 可能なら、帯電防止リスト ストラップと、接地マットを使用します。
- 帯電防止袋からファームウェア モジュールを取り出す前に、静電気を放電させるために、接地し、ペンキが塗られていない金属面に触れます。

これで取り付けを開始する準備ができました。

- 1 プリンタの電源がオンになっている場合は、フロントパネルで電源をオフにします。
- 2 プリンタの背面を見て、左の用紙経路変流器（黒いプラスチックの部分）を取り外します。変流器についている 2 つのスロットを下に押してから手前に引いて取り外します。



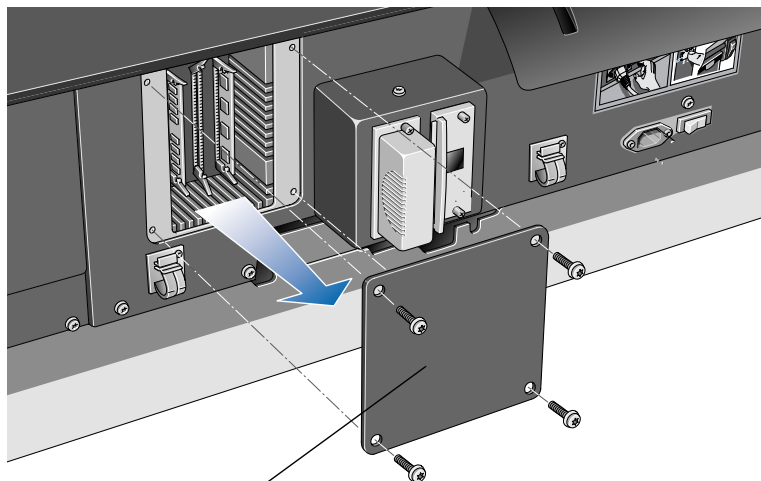
- 3 プリンタ背面の主電源スイッチでプリンタの電源をオフにし、電源ケーブルとインタフェース ケーブルを取り外します。



電源ケーブル

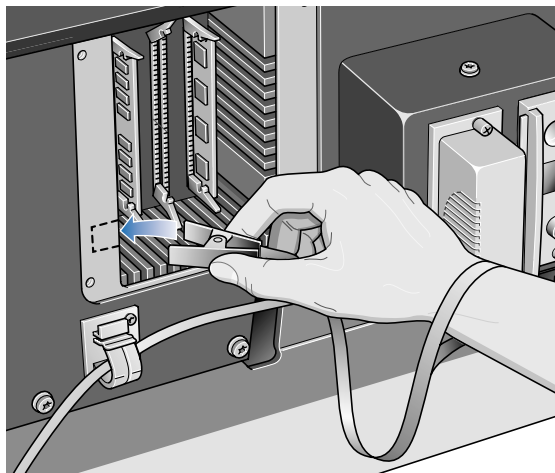
プリンタの電源を切る

- 4 4つのネジをゆるめてプリンタ背面のカバー プレートを取り外します。
取り外したネジをなくさないように、プリンタのネジ穴に差し込んでおいてください。



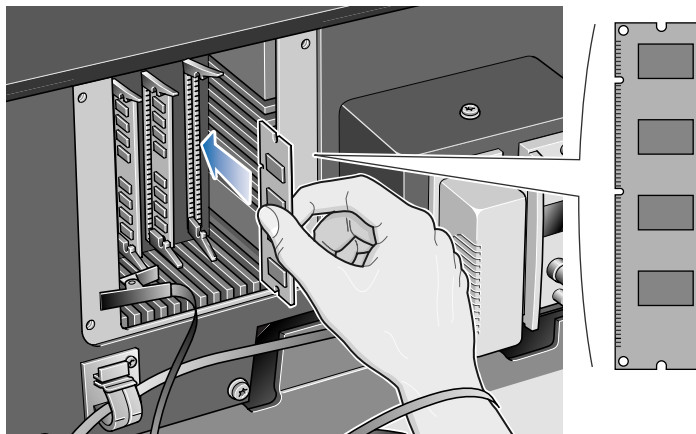
カバー プレート

- 5 プリンタ背面に3つのスロットが見えます。ファームウェア モジュールを取り付けるのは、この3つの内のいちばん右端のスロットになります。
- 6 接地リスト ストラップを着用し、そのもう一方の端をプリンタの金属シャーシにつけます。

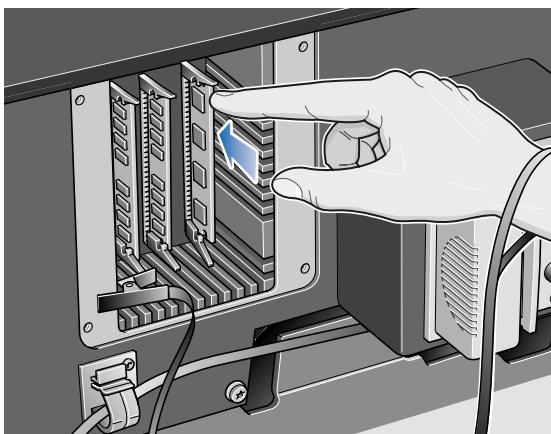


- 7 現在右端のスロットに取り付けられているモジュールを取り外します。まず、下位のロックング タブを押してモジュールをゆるめ、その端をつかんでモジュールを抜きます。
- 8 帯電防止袋からファームウェア モジュールを取り出します。ファームウェア モジュールの端の非金属部分をつかんでください。

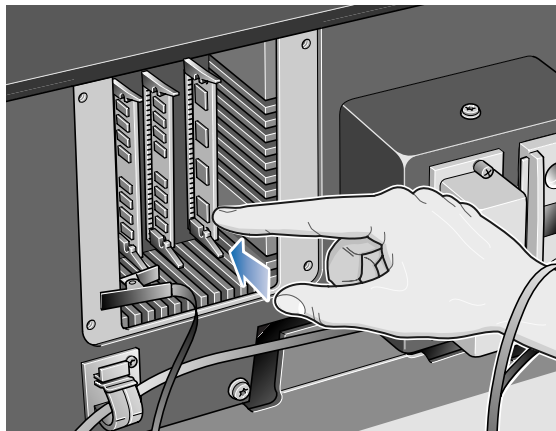
- 9 ファームウェア モジュールの上端を押してスロットに慎重に差し込みます。



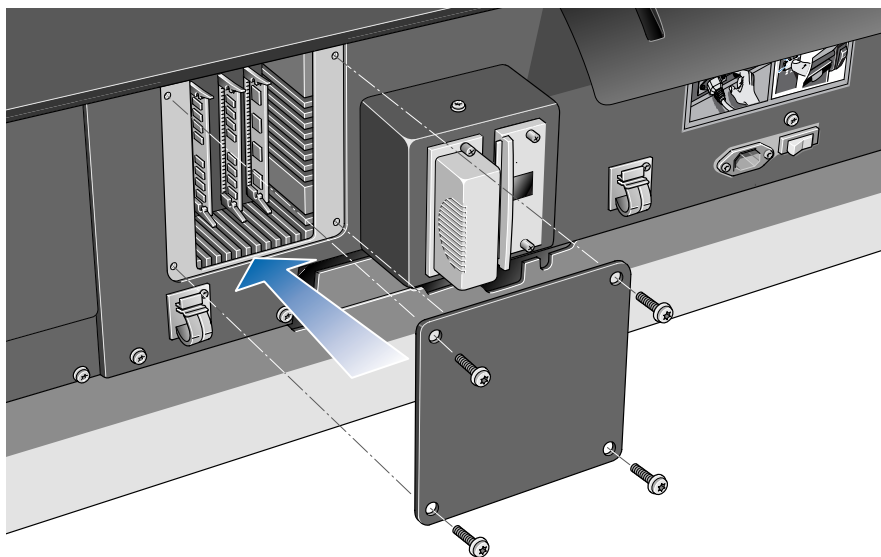
- 10 “カチッ”という音がして、ファームウェア モジュールが正しい位置にしっかりとめ込まれるまで、上端を押し続けます。このとき、上部のロック タブが正しい位置に固定されるのが見えます。



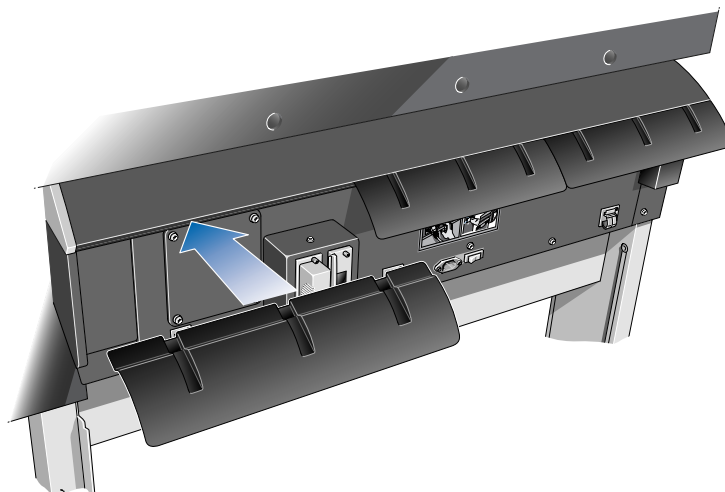
- 11 “カチッ”という音が出て、ファームウェア モジュールが正しい位置にしっかりとめ込まれるまで、下端を押し続けます。このときも、下部のロックング タブが正しい位置に固定されるのが見えます。



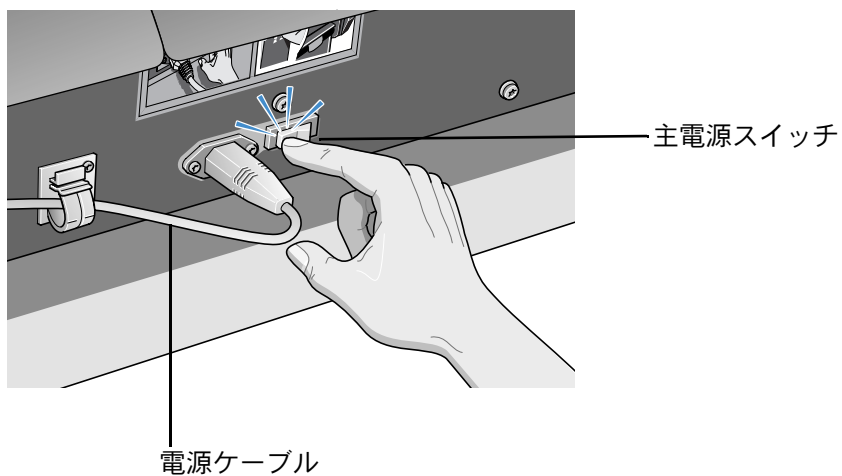
- 12 接地リスト ストラップを外しカバー プレートをプリンタ背面に 4 本のネジで取り付けます。



- 13 プリンタ左側の用紙経路変流器を取り付けます。



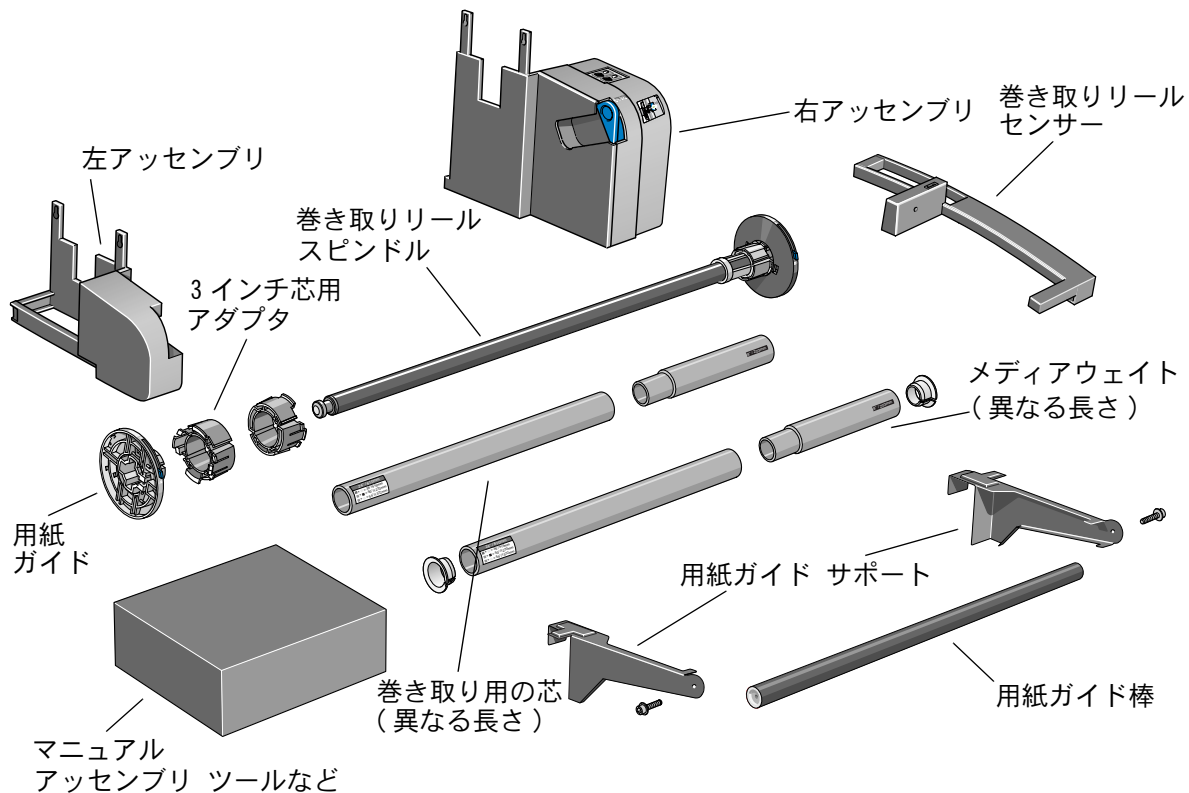
- 14 電源ケーブルとインタフェース ケーブルを接続し直し、プリンタ背面の主電源スイッチで電源をオンにします。



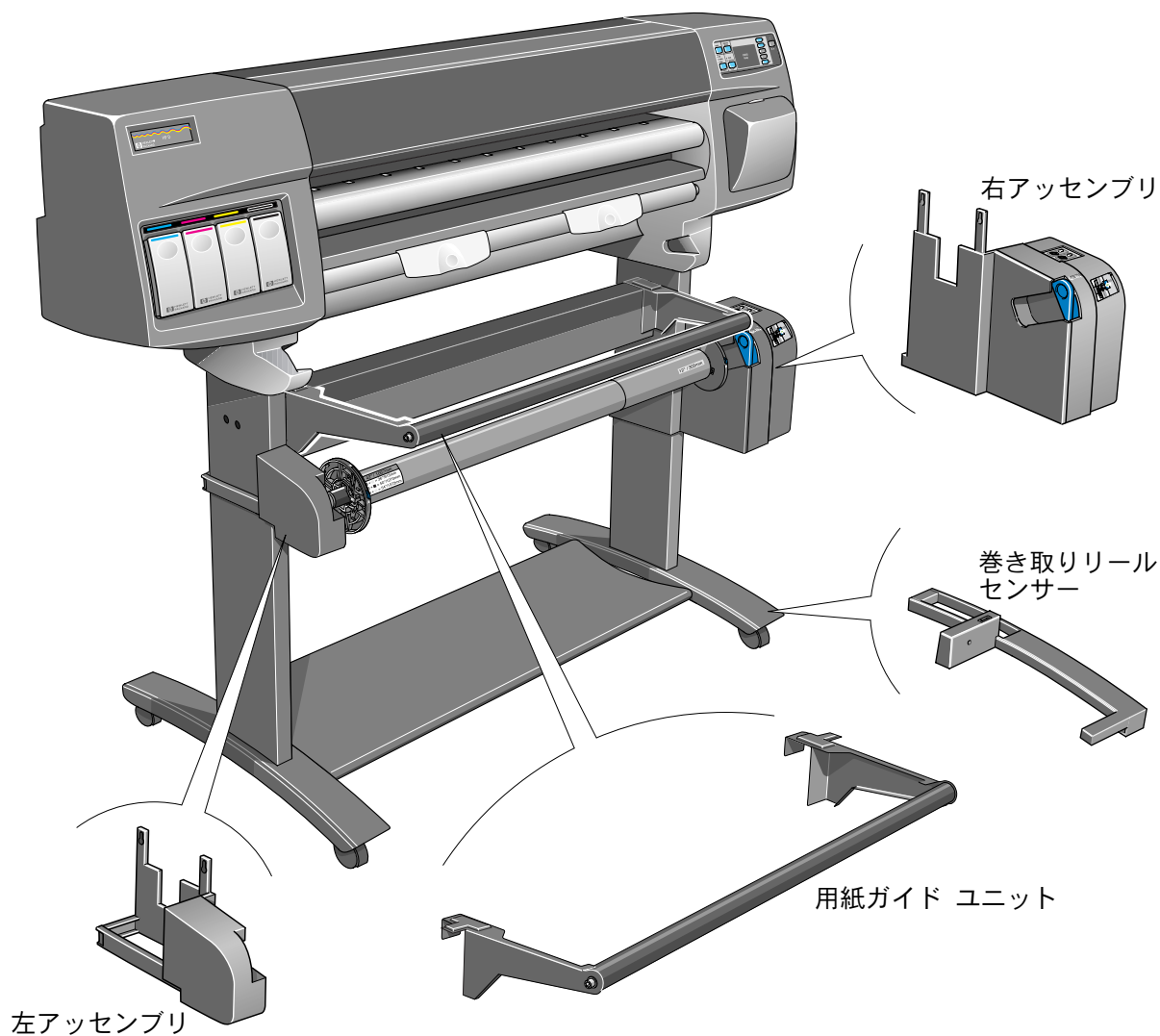
これで、ファームウェア モジュールの取り付けは完了です。

巻き取りリールの部品

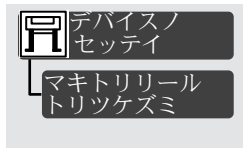
巻き取りリールには、次の主要な部品があります。



以下の図では、プリンタに取り付ける巻き取りリールの主要な部品を示しています。



巻き取りリールの取り付け

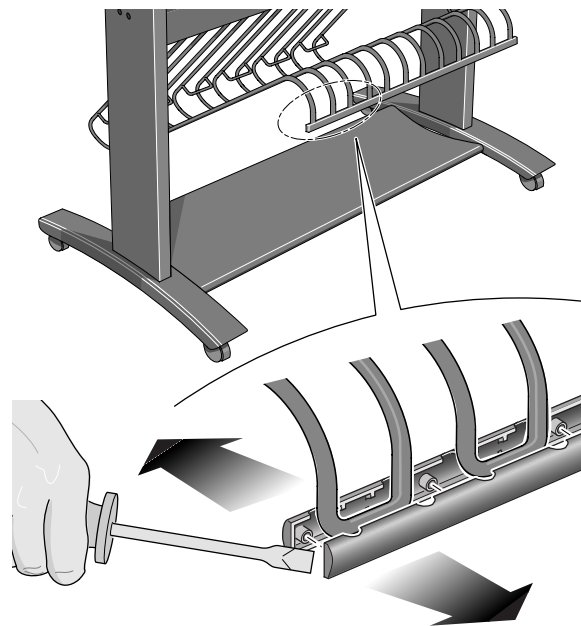


1. フロントパネルを使って、プリンタメニューから「デバイスノセッテイ」-「マキトリリールトリツケズミ」を選択し、このオプションのメッセージを「イエエ」から「ハイ」に変更します。

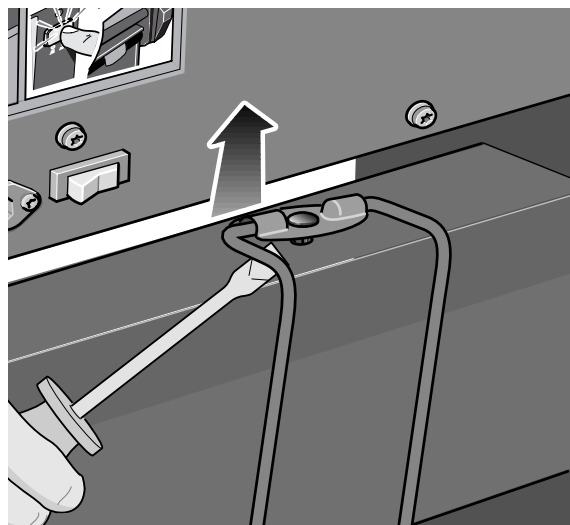
「マキトリリールトリツケズミ」オプションが見つからない場合は、プリンタのファームウェアをアップグレードする必要があります（4 ページの「プリンタのアップグレード」を参照）。

2. ロール紙が取り付けられている場合は、それを取り外します（『ユーザーズガイド』の第3章を参照）。
3. 用紙スタッカカバーが使用されている場合は、それを取り外します。
4. マイナスのドライバでピンを取り外します。

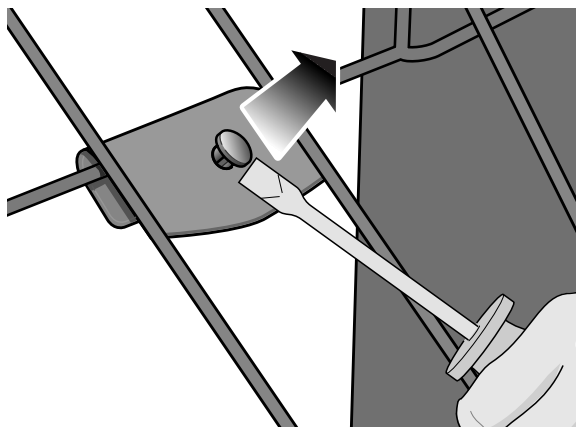
5. 下部にある穴を通してキャップストリップを慎重に取り外します。



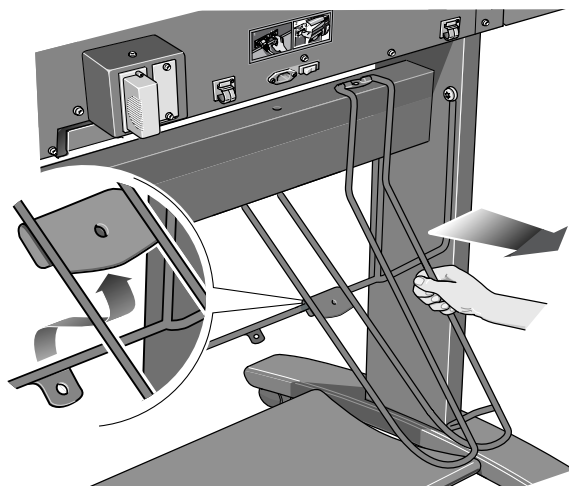
6. 用紙スタッカアームから6つの固定クリップを慎重に取り外します。



7. 用紙スタッカ サポートから 6 つの固定クリップを慎重に取り外します。

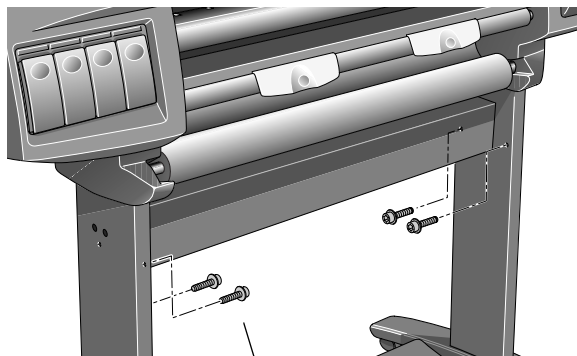


8. 6つの用紙スタッカアームを取り外します。



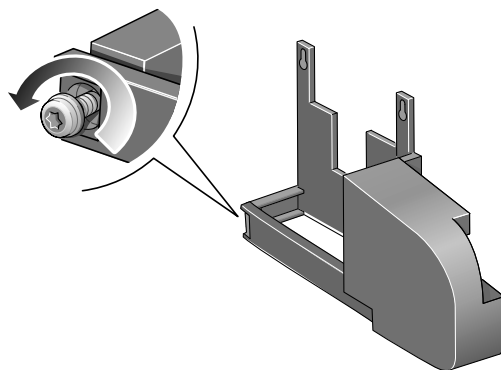
9. 4つのネジを回して、支柱から用紙スタッカアームを取り外します。次の手順でこれらの（短い）ネジは使わないでください。

10. 下に示すように、巻き取りリールキット一式から4つの（長い）ネジをゆるく取り付けます。まだネジをきつく絞めないでください。

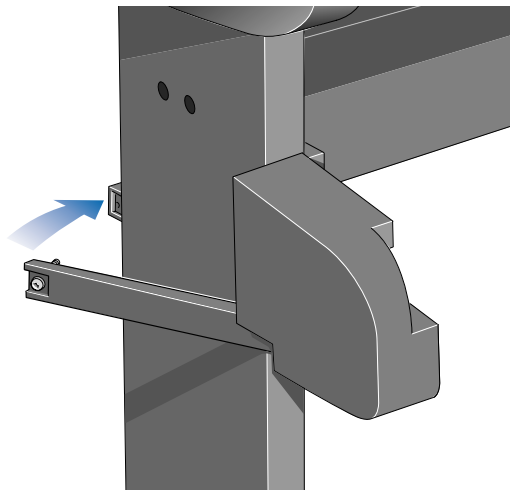
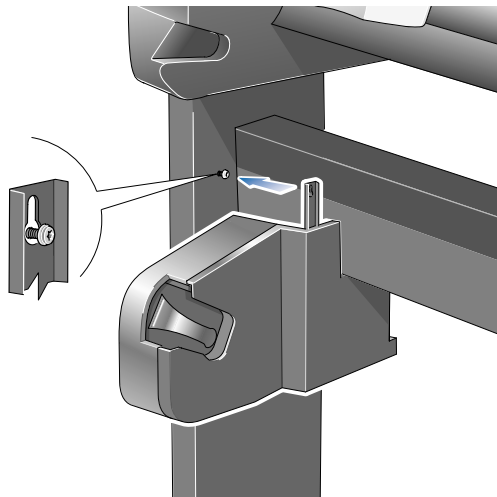


取り付けるネジ

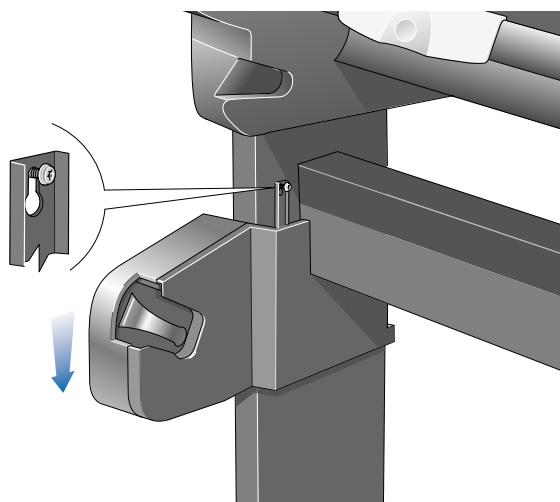
11. 下に示すように、ネジを緩めることによって右アセンブリのクランプを外します。この際ネジは取り外さないでください。



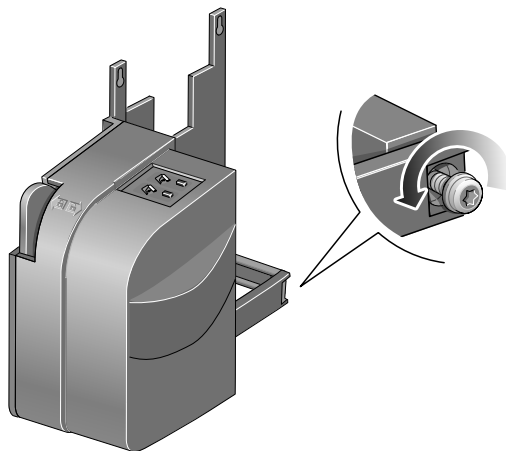
12. クランプを開き、手順 10 で取り付けしたネジに右アッセンブリを合わせます。
14. クランプを閉じ、下の図に示すようにクランプ ネジで固定します。



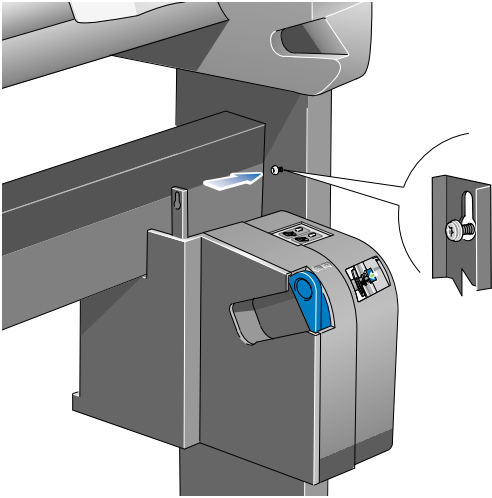
13. ネジがしっかり留まるように、右アッセンブリを引き降ろします。
15. アッセンブリを支える 2 つのネジをきつく絞めます。



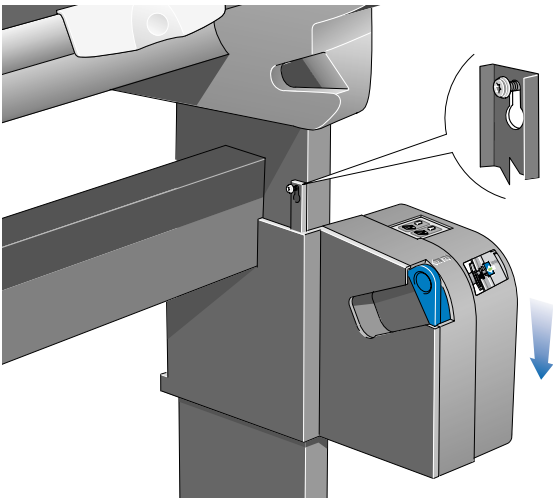
16. 下に示すように、ネジを緩めることによって右アッセンブリのクランプを外します。ネジは取り外さないでください。



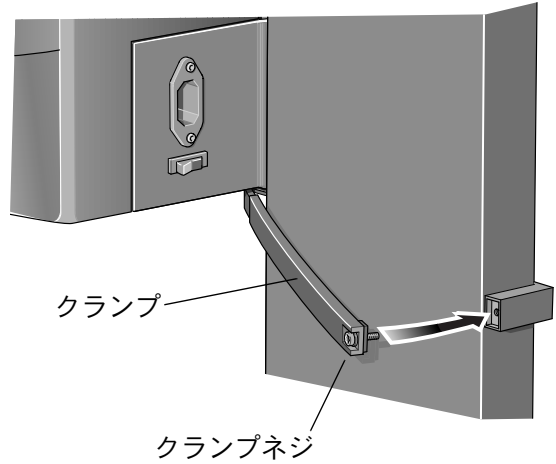
17. クランプを開き、手順 10 で取り付けしたネジに右アッセンブリを合わせます。



18. ネジがしっかり留まるように、右アッセンブリを引き降ろします。

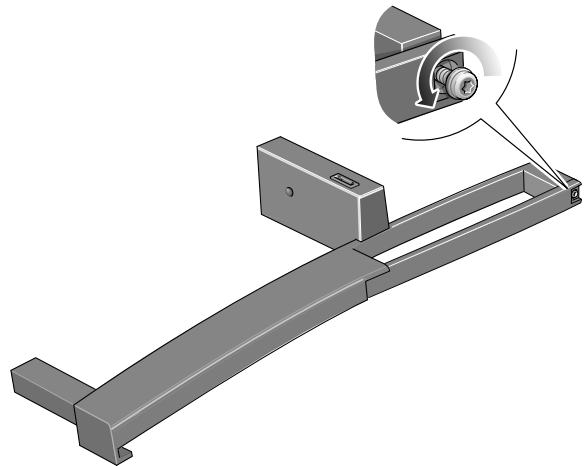


19. クランプを閉じ、下の図に示すようにクランプネジで固定します。

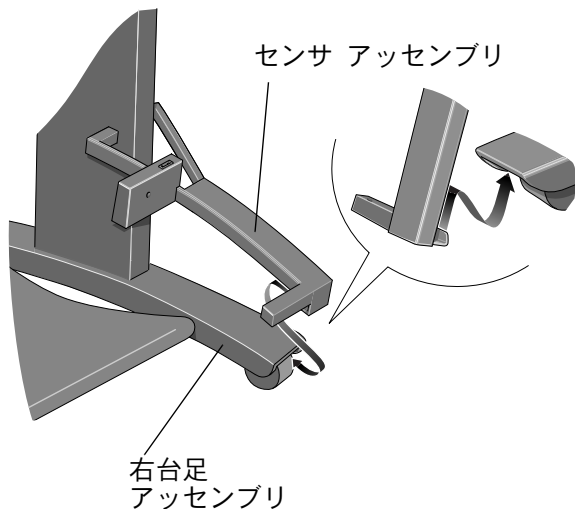


20. アッセンブリを支える 2 つのネジをきつく絞めます。

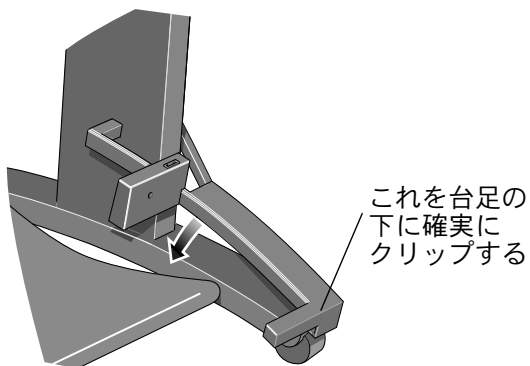
21. 下の図に示すセンサのネジを緩め（取り外さないでください）、クランプを開きます。



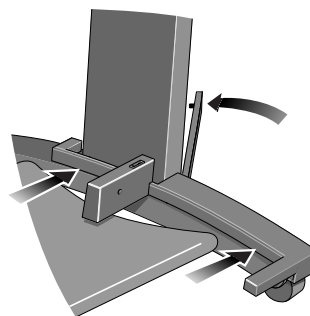
22. 下の図に示すようにセンサの前面を右側の台足の前面に取り付けます。



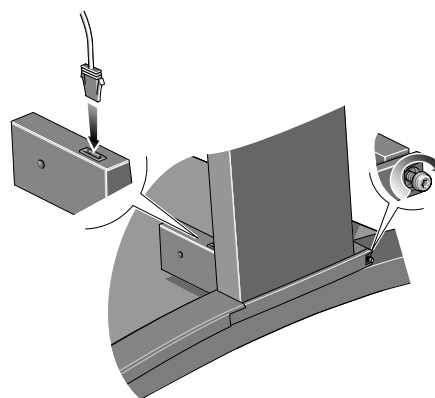
23. センサを下に示す位置に押し下げます。



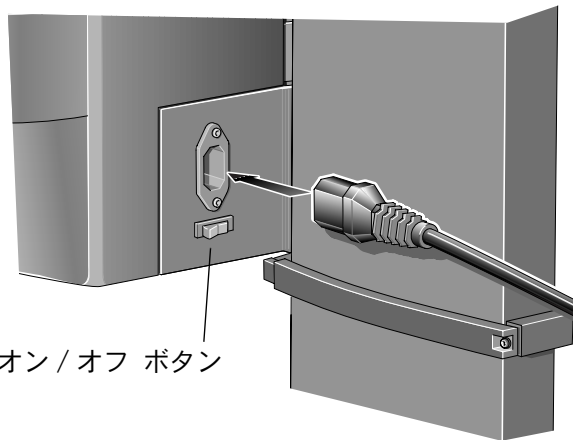
24. 下に示すように、センサ アッセンブリを台足に向かってスライドしてから、センサ クランプを閉じます。



25. 下の図に示すようにネジを締めつけてクラムプを定位置に固定し、センサ ケーブルを接続します。



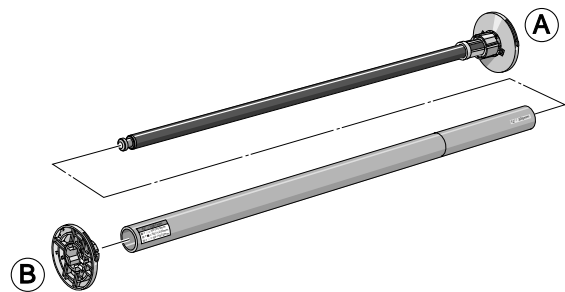
26. 電源ケーブルを巻き取りリールの背面に差し込みます。



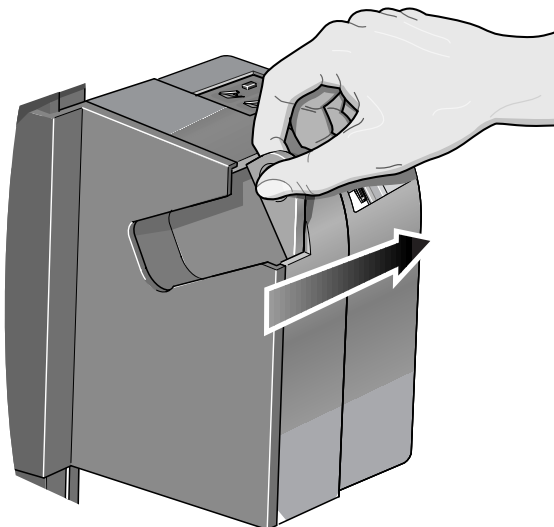
オン/オフ ボタン

27. 青いレバーを使って、巻き取りリール スピンドル上にある左側の用紙ガイドのロックを解除します。用紙ガイドを取り外します。

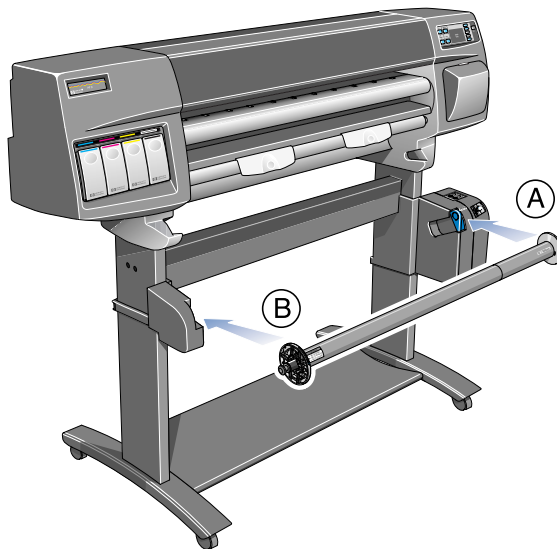
28. 巻き取りリールの芯を組み立て、それを下に示すようにスピンドルに取り付けます。次に、スピンドルに用紙ガイドを戻し、青いレバーでそれをロックします。



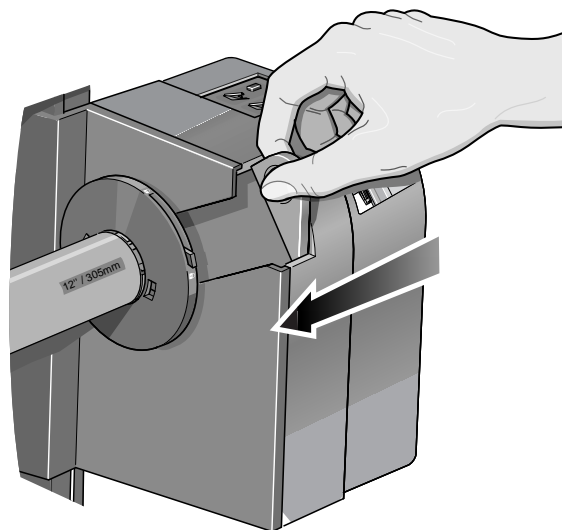
29. 必ずスピンドル ロックが開いているようにします



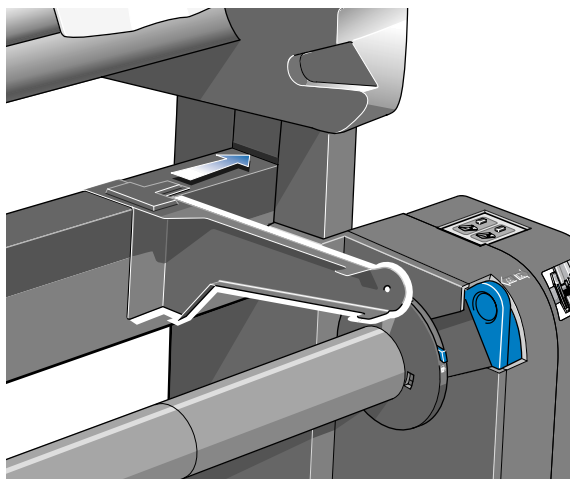
30. 下に示すように、スピンドル A と B の両端を強く押して、巻き取りリール スピンドルをプリンタに取り付けます。



- 31. 重要:スピンドル ロックを閉じてください。** スピンドル ロックを閉じないと、巻き取りリールが動作しません。
- 32.** 用紙ガイド棒と2つのサポート部品からなる用紙ガイド ユニットが、巻き取りリール キットの付属品として提供されています。左右のサポートをプリンタの支柱のトップに合わせます。



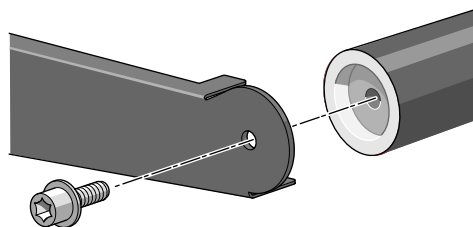
33. サポートのトップにある T 形の金具が支柱とプリンタ脚部の間隙に完全に挿入されるまで、用紙ガイド サポートをスライドします。用紙ガイド サポートが巻き取りリール アッセンブリに接触しなければなりません。



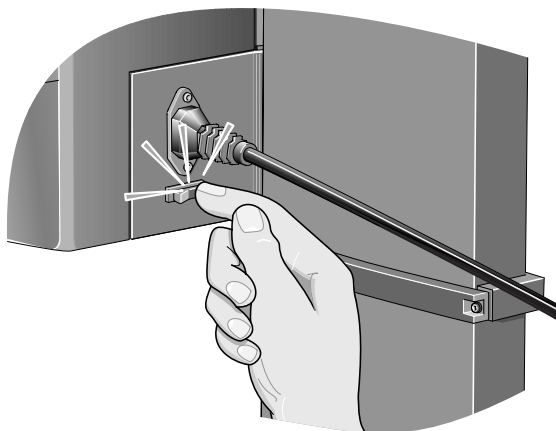
34. 2つのサポートに用紙ガイド棒を取り付けます。



35. 付属のネジでサポートに用紙ガイド棒を接続します。



36. 背面のスイッチを押して巻き取りリールの電源を入れます。



37. プリンタの電源ケーブルを抜いている場合は、それを再び差し込んでプリンタ背面の主電源スイッチをオンにしてから、フロントパネルのオン/オフ ボタンを使ってプリンタの電源を入れます。

38. プリンタの初期化が完了し、フロントパネルに「プリントカノウデス」というメッセージが表示されるまで待ちます。

これで、巻き取りリールの取り付けは完了です。

巻き取りリールへの用紙の取り付け

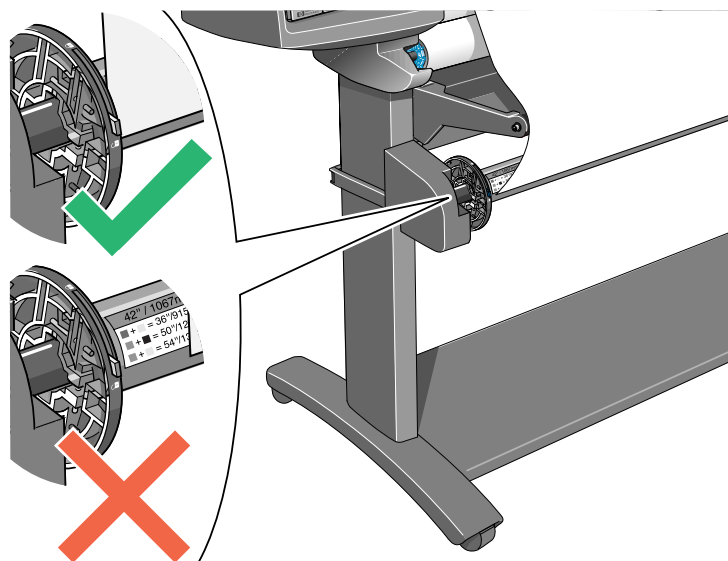
巻き取りリールを使用する前に、リールが正しく取り付けられていることを確認してください（前のページを参照）。特に、芯がスピンドルにはめ込まれているか確認してください。

注意 インクジェット普通紙には、150 フィート ロール紙と 300 フィート ロール紙があります。巻き取りリールで完全に巻き取れるのは、150 フィート ロールのみです。

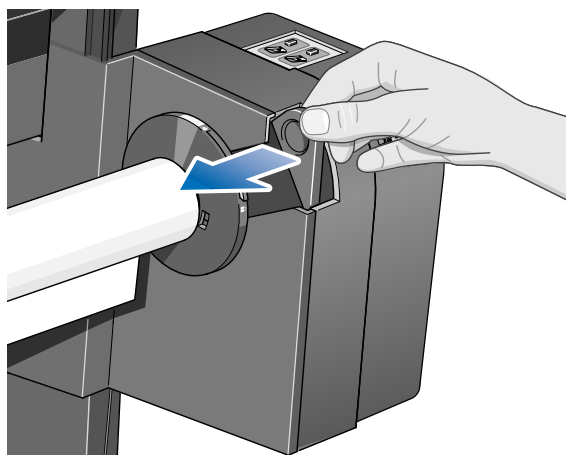
注意 巻き取りリールで、ミシン目のついたバックライト用紙の使用は避けてください。

- プリンタに既にロール紙が取り付けられている場合は、フロントパネルでロール紙メニューを選択します。「リールニ ヨウシガ トリツケラレマシタ」オプションを「ハイ」に設定します。手順 1 に進みます。
- プリンタにまだロール紙が取り付けられていない場合は、『ユーザーズガイド』の第 3 章の指示に従ってロール紙を取り付けます。用紙の種類を選択すると、「イイエ」または「ハイ」に設定するオプション「マキトリリールニ ヨウシヨ トリツケテ クダサイ」がすぐに表示されます。「ハイ」を選択します。下の手順 1 に進みます。

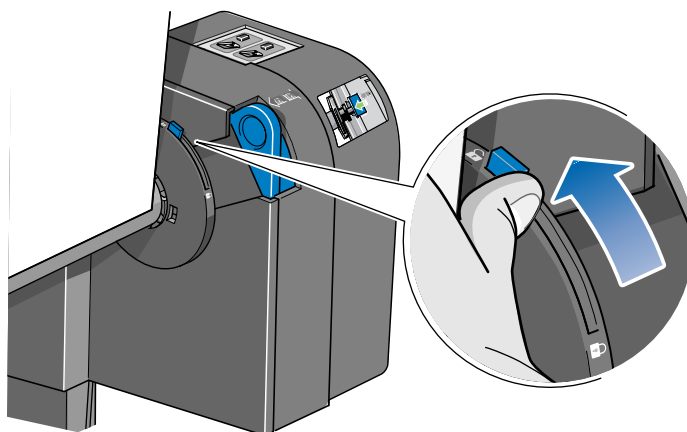
- 1 フロントパネルで、矢印ボタンを使って用紙を移動するよう指示されます。↓ボタンを使って、用紙の先端を芯の中央の位置まで引き降ろします。下に示すように、用紙ガイドユニットの前面に用紙が渡っているか確認します。用紙を誤って引き降ろしすぎた場合は、↑ボタンを使って用紙を巻き戻します。



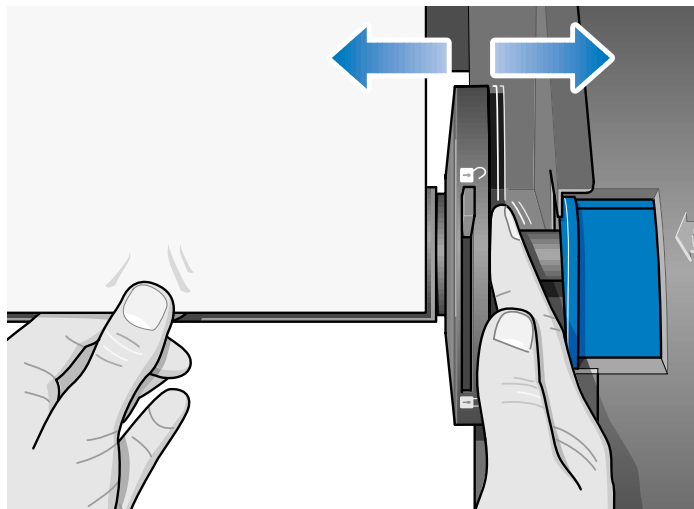
2 スピンドルがロックされた位置にあるか確認します。



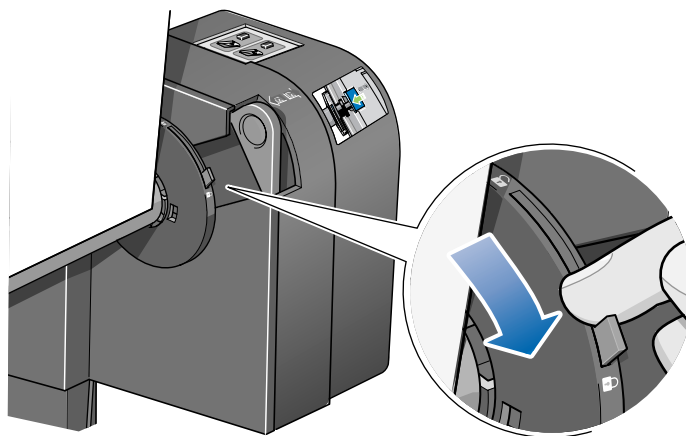
3 左右の用紙ガイドの調節レバーをロックが解除された位置に移動します。 🔓



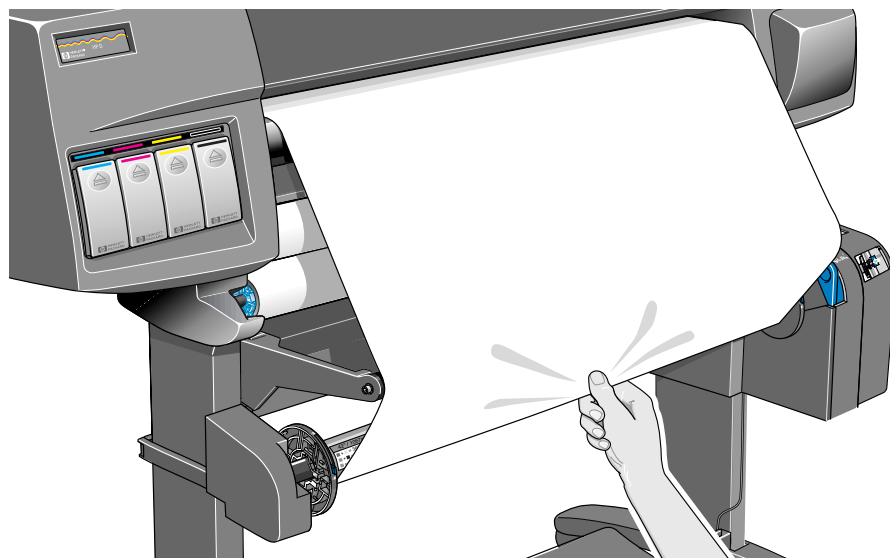
- 4 2つの用紙ガイドと芯は巻き取りリールのスピンドル上に位置し、用紙は用紙ガイド間の中央に取り付けなければなりません。下に示すように、芯の位置を調節します。スピンドル上の用紙ガイドがスピンドルにきつくはまっていて少々動かしづらいことがあります。その場合は両手で移動させてください。



- 5 芯の位置を調節したら、両方の用紙ガイドの調節レバーをロックされた位置に戻します。🔒



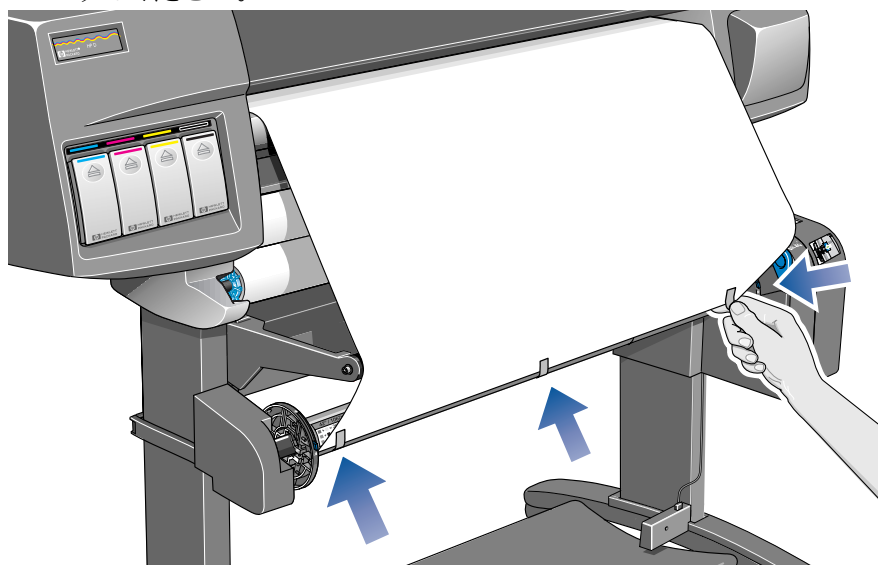
- 6 下に示す位置まで用紙を引っ張ります。用紙を引っ張りすぎないように注意してください。用紙がさらに必要な場合は、フロントパネルを使用します。



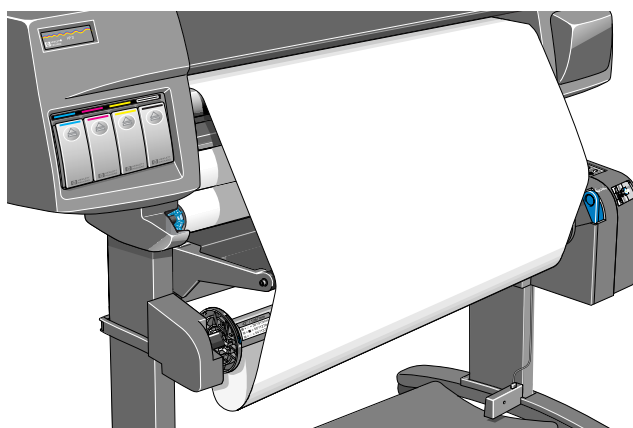
- 7 粘着テープを少し使って、芯に用紙を取り付けます。3ヶ所に粘着テープを使い、最初に中央を、次に用紙の両端をテープで留めます。

注記：後ではがすときに用紙が破れてしまわないような粘着テープを使用してください。

注記：芯に巻き付けた用紙がゆがまないように、用紙はまっすぐに取り付けてください。



- 8 フロントパネルの ↓ ボタンを押すと、用紙が排出されます。用紙を巻き取りリールにしっかりと取り付けられるように、少なくとも芯の回りを一周するだけの余裕をみて用紙を排出してください。



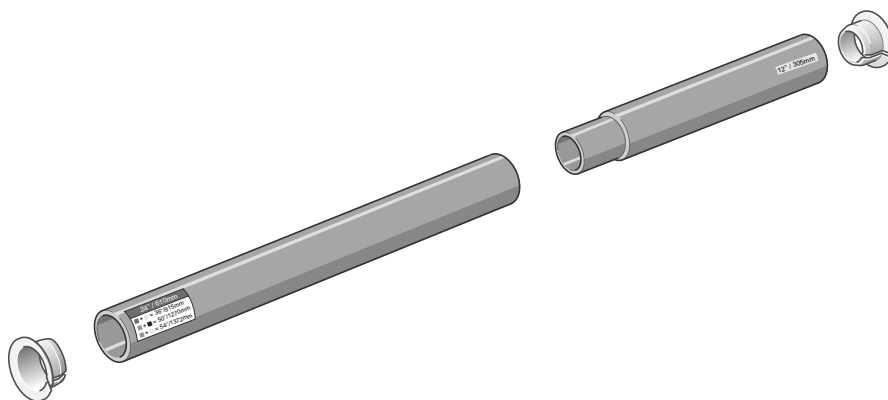
この程度の量の用紙を
排出してください

- 9 **重要**：下に示すように、巻き取りリールパネル上の用紙巻き取りボタンを押して、芯に用紙を1周巻き付けます。用紙を巻き付けることができない場合は、スピンドルがロックされた位置にあるか確認してください（手順2を参照）。



- 10 フロントパネルの ↓ ボタンを押して、さらに用紙を排出します。メディアウェイトを挿入することができる分量を排出します。

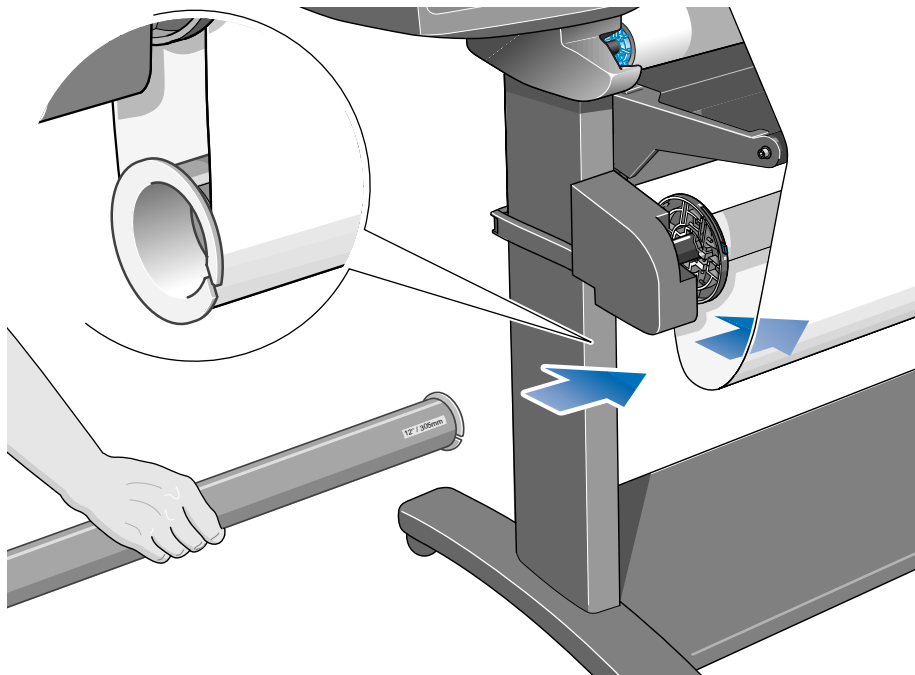
メディアウェイトの長さは、使用している用紙の幅と同じであることが重要です。プラスチック製の芯のカラーコード長と一致していれば、標準用紙サイズの異なる幅ごとにメディアウェイトを作成することができます（24インチ、36インチの幅）。



- 11 メディア ウェイトを慎重にセットします。両端にエンドキャップが取り付けられていることと、用紙の端まで届いていることを確認します。

注意

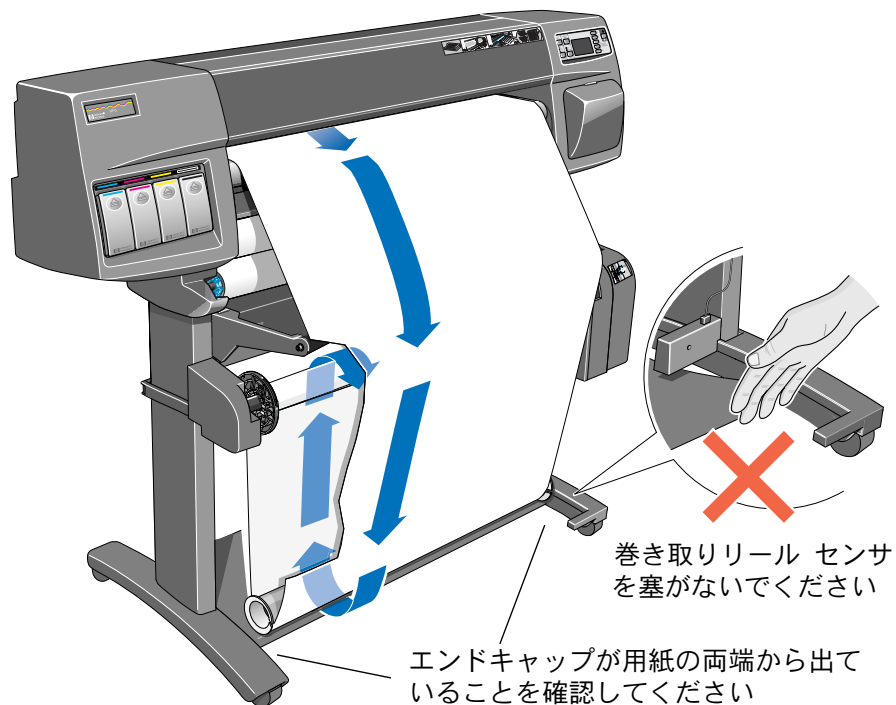
メディア ウェイトの取り付けは重要です。メディア ウェイトがないと、巻き取りリールは正常に機能しません。



- 12 プリンタのフロントパネルで入力ボタンを押すと、「プリントカノウデス」のメッセージが表示されます。

注記：巻き取りリールの動作時は、巻き取りリール センサが塞がれないようにすることが重要です。

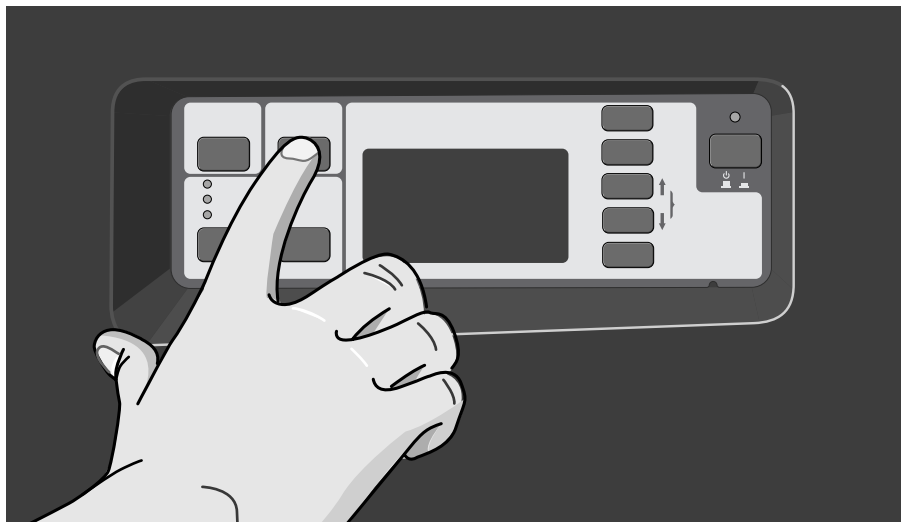
- 13 下の図は、プリンタの動作時の様子を示したものです。プリンタから送られる用紙は、輪を描くように下に落ち、巻き取りリール スピンドルに向かって上に巻き込まれます。



巻き取りリールからの用紙の取り出し

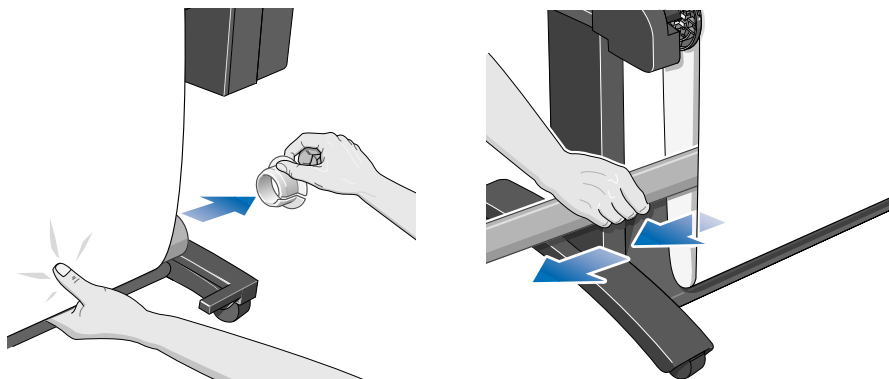
巻き取りリールからの用紙を取り出すには、次の手順を実行します。

- 1 インクが乾いていることを確認します。巻き取りリールでの乾燥時間（36ページ）を参照してください。
- 2 フロントパネルの**排紙 / カット** ボタンを押します。

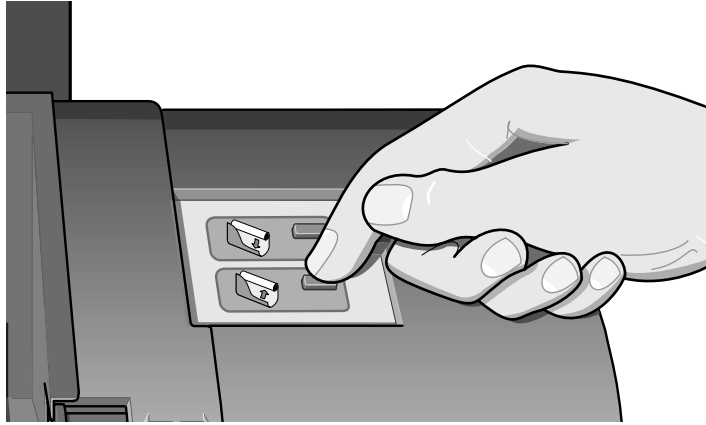


フロントパネルにメディア ウェイトを取り外し、巻き取りリール ボタンを使って余分な用紙を巻き取るよう表示されます。

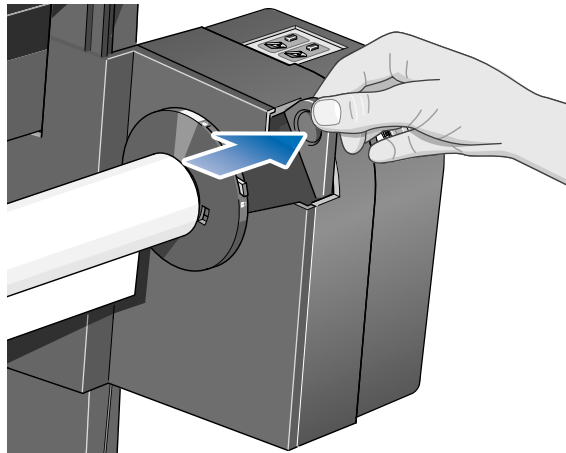
- 3 **重要：**下に示すように、メディア ウェイトを取り外します。最初に両端のエンドキャップを外すと簡単です。



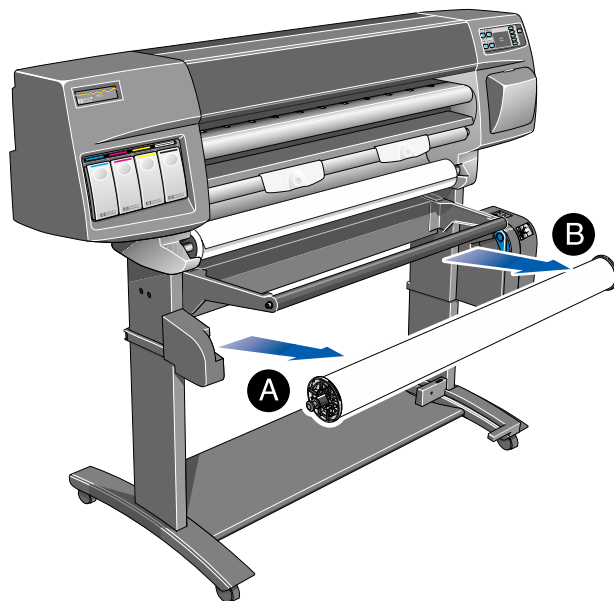
- 4 下に示す用紙巻き取りボタンを押して、巻き取りリールに垂れ下がっている用紙を巻き取ります。



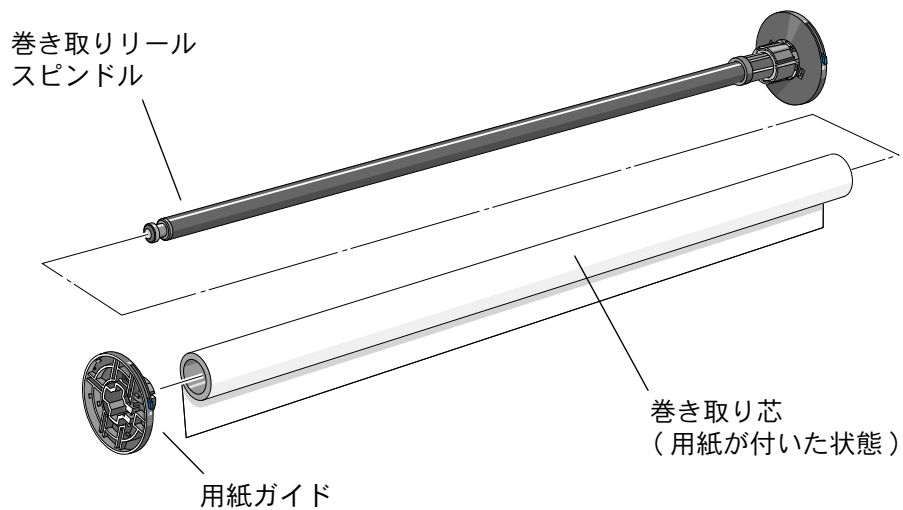
- 5 フロントパネルの入力ボタンを押します。カッターで用紙がカットされます。
- 6 巻き取りリールの右側のスピンドル ロックをスライドさせて開きます。



7 巻き取りリール スピンドルを取り外します。



8 左側の用紙ガイドのロックを解除し、巻き取りリール スピンドルから取り外します。スピンドルから芯を取り外します。

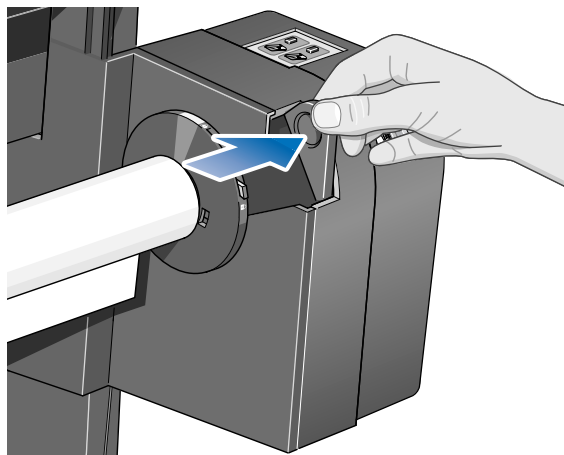


プリンタからロール紙を取り外すには、『ユーザーズ ガイド』を参照してください。

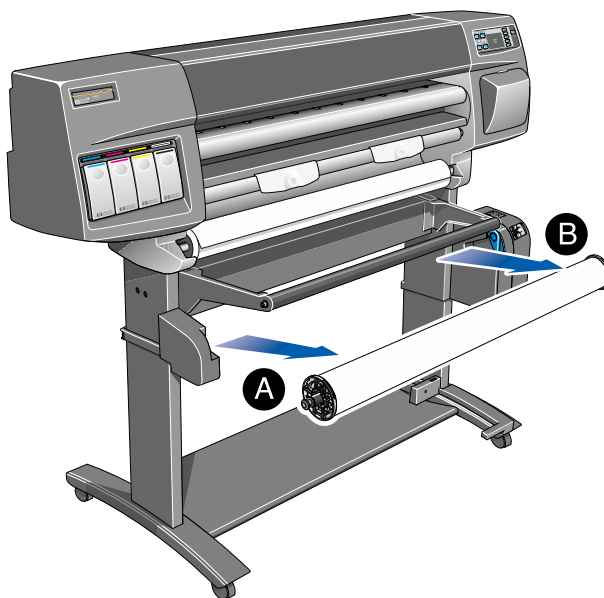
巻き取りリールの芯の交換

巻き取りリール上の芯の長さは、使用している用紙の幅と同じでなければなりません。芯を取り替えるには、次の手順を実行してください。

- 1 巻き取りリールの右側のスピンドル ロックをスライドさせて開きます。



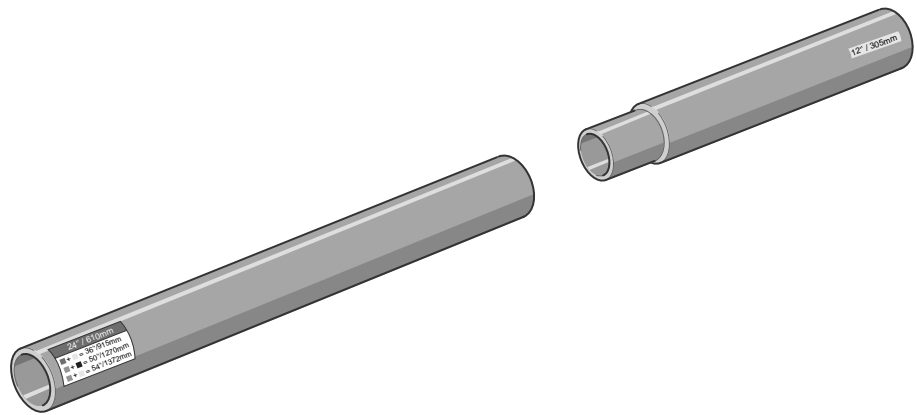
- 2 下に示すようにスピンドルの端を A、B の順に強く引き、プリンタから巻き取りリール スピンドルを取り外します。



- 3 左側の用紙ガイドを取り外します。
- 4 使用済みの巻き取り芯を取り外します。
- 5 新たに使用する芯をスピンドルに取り付け、左側の用紙ガイドを再度取り付けます。

注記： プリンタ付属のプラスチック製巻き取り芯の代わりに中空のボール紙製の芯を使用することもできます。

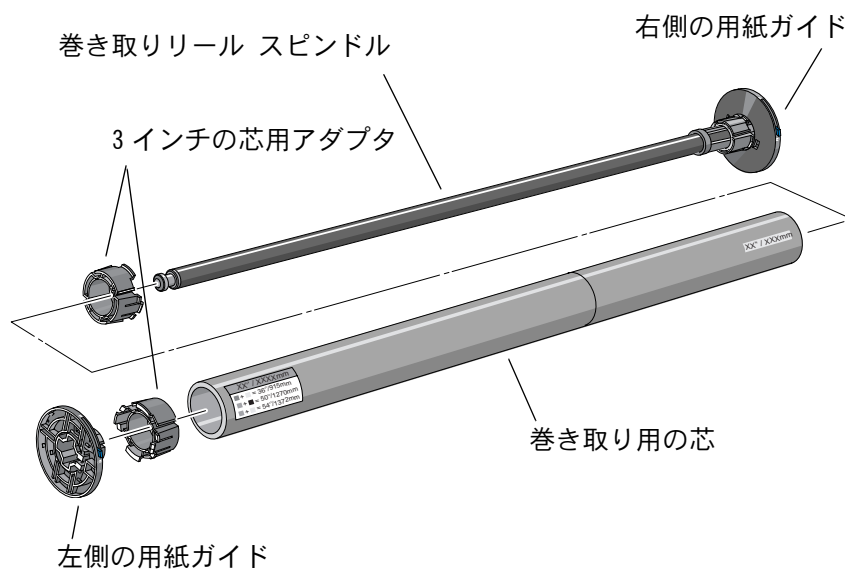
巻き取り用の芯は使用する用紙と同じ幅にしてください。プラスチック製の芯のカラー コード長と一致していれば、標準用紙サイズの異なる幅ごとにメディア ウェイトを作成することができます (24 インチ、36 インチの幅)。



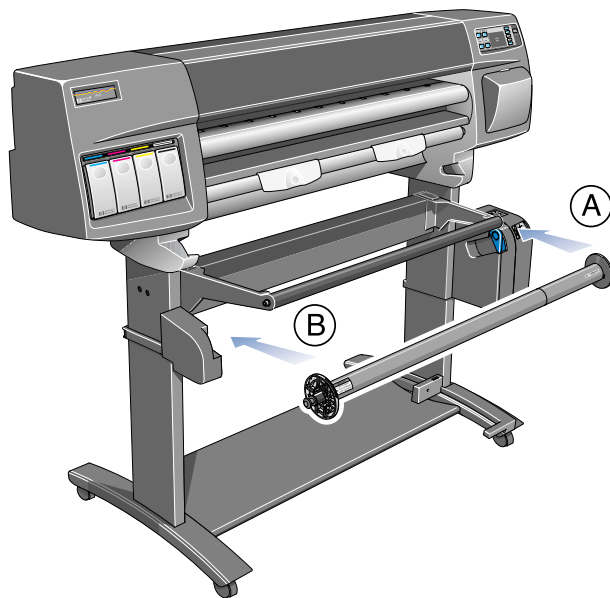
代わりに、中空のボール紙製の芯を使用することもできます。

注記： 巻き取り芯が両方の用紙ガイドにしっかりと押し込まれていることを確認します。

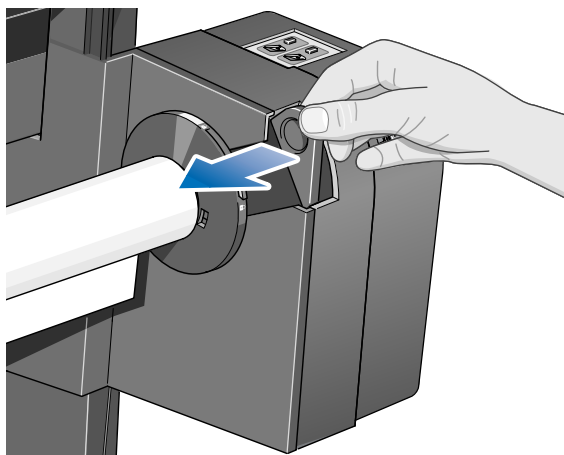
注記： 3 インチの紙製の芯を使いたい場合は、下に示す 3 インチの芯用アダプタを使用します。



- 6 スピンドルの端を A、B の順に強く押し、プリンタに巻き取りリール スピンドルを取り付けます。



- 7 巻き取りリールの右端のスピンドル ロックをスライドさせて閉じます。



巻き取りリールでの乾燥時間

巻き取りスピンドルに用紙を巻き取るときにインクが乾いていないと、イメージが損なわれてしまいます。

ほとんどの場合、用紙がスピンドルに巻き取られるまでの間（巻き取りリールに垂れ下がっている間）にインクは乾燥します。ただし、乾燥には時間がかかるため、プリンタは巻き取りリールに用紙を巻き取るまでの時間を長くするために印刷プロセスの速度を落とします。これを乾燥時間といいます。



デバイスノ
セッテイ

カンソウジカン

乾燥時間の設定には次の3つがあります。乾燥時間の設定を変更するには、プリンタのフロントパネルの「プリンタ セットアップ」メニューを選択し、「デバイスノ セッテイ」、「カンソウ ジカン」を選択します。これは、『ユーザーズ ガイド』の第2章で詳しく説明されています。

カンソウ ジカン = ナシ

これは印刷プロセスを遅らせない設定です。

弊社では、異なる環境条件でHP用紙範囲をテスト済みです。以下の表には、乾燥時間が必要な用紙と、印刷プロセスを遅らせないための環境条件が示されています。この表は高品質モードにのみ適用されます。

HP 用紙種類	印刷領域 の幅	湿度 の上限	温度 の上限
光沢フォト	12 インチ以上	50%	25 °C
マット フィルム	12 インチ以上	45%	25 °C
クリア フィルム	12 インチ以上	75%	35 °C

カンソウ ジカン = ジドウ

デフォルトの設定です。必要に応じて、次の条件に基づいて乾燥時間が自動的に調節されます。

- 用紙の種類
- 印刷モード
- 印刷領域の幅
- 環境条件

注意

乾燥時間が加わることによってプリント時間が長くなるのを避けるには、次の環境条件の下でプリンタを操作してください。この表は高品質モードにのみ適用されます。

HP 用紙種類	印刷領域の幅	湿度の上限	温度の上限
光沢フォト	12 インチ以上	45%	25 °C
マット フィルム	12 インチ以上	40%	25 °C
クリア フィルム	12 インチ以上	70%	35 °C

カンソウ ジカン = シュドウ

このモードでは、印刷時にプリンタが計算した乾燥時間に関係なく、任意に乾燥時間を設定できます。ただし、プリント プロセスには最低限必要な時間があります。指定した時間値がこれより小さい場合、プリンタはその値を無視します。

トラブルの解決

このページでは、巻き取りリールで発生する問題について解説します。

巻き取りリールが機能しない

- 電源に問題があると考えられます。電源ケーブルが差し込まれているか、ソケットからの電力が利用可能であるかを点検します。
- 巻き取りリールの背面にあるオン/オフスイッチがオンになっていることを点検します。
- スピンドル レバーを点検します。スピンドル レバーは閉じていなければなりません。
- 右アッセンブリから伸びているセンサー ケーブルが正しく接続されているかを点検します。
- センサーをカット紙で塞いで、センサーが正常に動作しているかを点検します。
- 右側の巻き取りリール アッセンブリに欠陥があると考えられます。
- センサー アッセンブリに欠陥があると考えられます。

巻き取りリール上で用紙がゆがむ

- 用紙が巻き取りリールの芯にまっすぐ取り付けられているかを点検します。
- メディア ウェイトの長さが用紙の幅と同じかどうかを点検します。
- 巻き取りリールの芯の長さが用紙の幅と同じかどうかを点検します。
- メディア ウェイトがしっかり取り付けられているかを点検します。
- 巻き取りリール スピンドルが正しく取り付けられているかを点検します。
- 左右の巻き取りリール アッセンブリが正しく取り付けられているかを点検します。
- ベース トレイ上に何も無いことを確認します。

巻き取りリールの仕様

用紙の種類

普通紙
半透明ボンド紙
インクジェット普通紙 (150 フィート /45 メートルまで)
ベラム紙
コート紙
厚手コート紙
光沢フォト用紙
マット フィルム
クリア フィルム
モノクロ & カラー・トレーシング ペーパ
薄手トレーシング ペーパ (70g/m² を超えるもの)

電源仕様

信号ソース	100-240V ac ± 10%。自動レンジ調節
周波数	50-60 Hz
電力	最大 0.2A
消費電力	最大 15W

環境仕様

動作環境	高品質の出力に最適な環境	15 °C ~ 30 °C (59° F ~ 86° F)
	標準 :	15 °C ~ 35 °C (59° F ~ 95° F) (光沢紙を除く : 15 °C ~ 30 °C (59° F ~ 86° F))
	最適な湿度	20% ~ 80% 非濃縮
保管環境	湿度 95%	-40 °C ~ 70 °C (-40° F ~ 158° F)
	HP デザインジェット インク システム保管容器内にあるプリントヘッドとプリントヘッド クリーナ 温度 : 15 °C ~ 35 °C (59° F ~ 95° F) @ 20% - 80% 湿度	

EMC (ElectroMagnetic Compatibility) 仕様

カナダ	Canadian Department of Communications, Radio Interference Regulations Class B compliant.
欧州連合	89/336/EEC EMC Directive compliant.
南アフリカ	SABS licensed.
米国	Federal Communications Commission. Class B digital device. CFR 47 Part 15
オーストラリア ニュージーランド	Meets AS/NZS 3548
台湾 (ROC)	BCIQ Certified

安全仕様

Constructed according to Information Technology Equipment (ITE) Safety Standard IEC950 Fixed, Class I, Pluggable Type A, Installation Category II, Pollution Degree 2. For use in indoor controlled office environments.	
カナダ	Canadian Standards Association “Certified” ITE, CSA C22.2 No. 950
欧州連合	73/23/EEC Low Voltage Directive compliant. EN 60950
ドイツ	TUV EN60950 certified
メキシコ	DGN, NOM019-SCFI-1994 certified
米国	Underwriters’ Laboratories UL 1950 Listed
ポーランド	PCBC certified
ロシア	GOST certified

法定規格通知

Sound

Geräuschemission (Germany) LpA < 70 dB, am Arbeitsplatz, im Normalbetrieb, nach DIN 45635 T. 19.

Electro-Magnetic Compatibility (EMC)

FCC Statements (U.S.A.) The U.S. Federal Communications Commission (in 47 cfr 15.105) has specified that the following notices be brought to the attention of users of this product.

Product identification numbers:

Take-Up Reel C6079X (where X denotes any alphabetic character)

This device complies with part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

CAUTION

Pursuant to Part 15.21 of the FCC Rules, any changes or modifications to this equipment not expressly approved by the Hewlett-Packard Company, may cause harmful interference and void the FCC authorization to operate this equipment.

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try and correct the interferences by one or more of the following measures:

- Reorient the receiving antenna
- Increase the separation between the equipment and the receiver
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help

The user may find useful the following booklet prepared by the FCC: “*How to Identify and Resolve Radio-TV Interference Problems*”. This booklet is available from the US Government Printing Office, Washington, DC 20402, Stock No. 004-000-00345-4.

**Normes de sécurité
(Canada)**

Le présent appareil numérique n'émet pas de bruits radioélectriques dépassant les limites applicables aux appareils numériques de *Classe B* prescrites dans le règlement sur le brouillage radioélectrique édicté par le Ministère des Communications du Canada.

**DOC statement
(Canada)**

This digital apparatus does not exceed the *Class B* limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

**Taiwanese EMI
statement**

警告使用者：
這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，
可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會
被要求採取某些適當的對策。

Address

Hewlett-Packard Company
Manager of Corporate Product Regulations
3000 Hanover Street
Palo Alto, CA 94304
415/857-1501

Declaration of Conformity

DECLARATION OF CONFORMITY

according to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014

Manufacturer's Name: Hewlett-Packard Espanola S.A.

Manufacturer's Address: Barcelona Division
Avda. Graells, 501
08190 Sant Cugat del Valles
Barcelona, Spain

Declares that the product

Product Name: HP Take Up Reel

Model Number (s): HP C6079X

Product Accessory:

Conforms to the following Product Specifications:

Safety: IEC 950 (1991) + A1,A2,A3,A4 / EN 60950 (1992) + A1,A2,A3,A4
CSA C22.2 No 950 (1995)
UL 1950 (1995)
NOM-019-SCFI-1994
GB 4943 (1995)
IEC 825-1 (1993) / EN 60825-1 (1994) Class 1 for LED

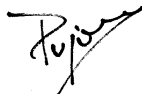
EMC: CISPR 22:1993 / EN 55022 (1994): Class B
EN 50082-1 (1992)
IEC 801-2:1991/prEN 55024-2 (1992): 4KV CD, 8KV AD
IEC 801-3:1984/prEN 55024-3 (1991): 3V/m
IEC 801-4:1988/prEN 55024-4 (1993): 1KV Power Lines
IEC 1000-3-2 (1995) / EN 61000-3-2 (1995);
IEC 1000-3-3 (1994) / EN 61000-3-3 (1995);
FCC Part 15 - Class B / DOC-B / BCIQ-A
AS/NZS 3548 / GB9254:1988

Supplementary Information:

The product herewith complies with the requirements of the Low-Voltage Directive 73/23/EEC and the EMC Directive 89/336/EEC and carries the CE marking accordingly.

The product was tested in a typical system with a Hewlett-Packard DesignJet series printer.

Sant Cugat del Valles (Barcelona),
10th of May 1999



Josep-Maria Pujol,
Site Quality Services Manager

European Contact: Your local Hewlett-Packard Sales and Service Office or Hewlett-Packard GmbH, Department HQ - TRE,
Herrenberger Strasse 130, D-71034 Boeblingen, Germany (FAX: +49 7031 143143)



© Copyright Hewlett-Packard Company 1999

マニュアル パーツ番号 :C6079-90008

第1版

Printed in Singapore

Hewlett-Packard Company
Barcelona Division
Avda.Graells, 501
08190 Sant Cugat del Vallès
Barcelona, Spain



C6079-90008